

学校だより

目玉 敬愛



剛健 敬身



(保護者・生徒版)
発行：2008・6・19(木)
第8号(通巻180号)
山添村立山添中学校
校長 田中 順一

6/16 伝統文化との出会い
3年生歌舞伎「俊寛」を鑑賞

国際的にも高く評価されている歌舞伎ですが、普段はなかなか鑑賞する機会がありません本校では毎年、3年時に歌舞伎を鑑賞する機会を設けています。この日は片岡我當(俊寛)、坂東新車(平判官康頼)、片岡進之介(丹左衛門尉基康)らが演じ、近松門左衛門が脚本を書いた「水泳シーズンに向けて」が上演されました。水泳の授業、夏の水泳教室に向けてプール清掃を行いました。これから少しずつ水を入れさせてもらいながら、プールに入れる日をみんな心待ちにしています。



6/17 進路について考える
奈良県公立高校説明会開催
6日に開催された三重県公立高校説明会に続いて17日(火)奈良県公立高校7校の説明会が、PTA進路対策部の皆さんによって開催されました。事前のアンケート及び卒業生の進路状況を参考にし、この日学校にいらしたいたのは、平城 奈良朱雀・添上 高円・糸山 山辺 山添分校の計7校です。学校案内や映像を使って各校の特色や魅力を話していただきました。県下各高校では後日、体験入学やオープンスクール等が実施されますので、保護者の方も一緒に積極的に参加されることをお勧めします。開催日等については改めてご案内します。1・2年生の参加を受けている学校もあります。



衛門作「俊寛」。坂東新車さんの歌舞伎解説の後、たどり歌舞伎の世界を堪能しました。平家打倒の謀反の罪で島流しになった二人のもとに御赦免船が来ます。しかし、同じ罪を犯しながらも一人残される俊寛。その孤独感が心に残りました。檀原文化会館との往復のバス代は村から補助されています。



本年度の取組について(6)
左図は平成20年度の本校教育のグランドデザインです。小さく見ていただいても構いませんが、今年度の取組の全体像を把握していただけるかと思えます。より充実した教育活動が展開できますよう精一杯取り組んでまいります。お気づきの点等ございましたら、遠慮なくお知らせください。

誕生日おめでとう 6月生まれの君へ

水の季節。青々と伸び始めた稲の上をかすめるように飛び交うツバメ。そんな姿を見ていると鳥の自由さにあこがれたりもします。私も翼がほしい鳥のように自在に空を飛ぶことのできる翼が...など、だけれもが一度は考えたことでしょうか。水辺にはハナシロフが涼しげに咲き、夜にはホタルが舞います。いずれも水の水の季節の使者。水の恵み、自然の美しさに感謝しながら、水の力の恐ろしい豊かな感性を磨きたいものです。

